

能登で震度7の大地震 被災地域に最大の支援を



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

新年第1号で皆さんに、新年のあいさつと決意を思っていました。元日に能登半島で大地震が起こり、また2日には、支援に向かう海上保安庁の飛行機が、羽田空港の滑走路上で日本航空の旅客機と追突し、5名の隊員が亡くなるという大事故が発生しています。このような大災害、大事故が建ち続けて発生したことは、今後の日本の行く末を暗示しているような気がします。今回は大震災を特集しました。

被害は人、被害はとてつと

新年の1月1日午後4時過ぎに石川県能登半島で大震度7の大地震が発生しました。1月9日現在で死者202人、行方不明者102人、負傷者565人、避難者は2万6千人を越えています。特に珠洲市と輪島市は大きな被害が発生し、火災等も発生し、大きな被害が起っています。

災害募金にご協力を

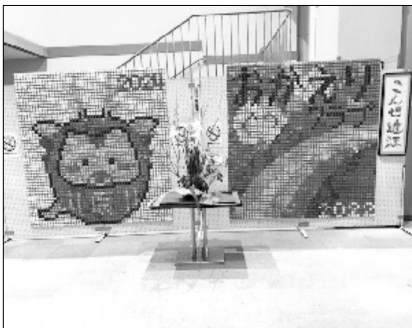
「2024年能登半島地震災害募金」へのご協力を訴えます

入っていますが、今後も被害が拡大することも考えられます。ボランティアの希望もありませんが行政自体が大きな被害を受けており、ボランティアセンターも立ち上がっておらず、受入れは困難です。日本共産党では、対策本部を2日に立ち上げ、次のおり災害救援募金のご協力を訴えています。

【郵便振替】
口座番号 00170・9・140321
加入者氏名 日本共産党 災害募金係
*通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。
手数料はご負担願います。

米原市20歳の集いで市の団のおめでとく宣伝の模様

近江学びあいステーションに飾られたおかえりクラブのペットボトルキャップの年賀状



地震直後には津波も発生しています。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。現在、必死の救命、救急の活動が行われていますが、今後も被害が拡大するとみられます。

日本共産党は、志位和夫委員長を本部長、小池晃書記局長を本部長代理とする「2024年能登半島地震災害対策本部」をたちあげ、被災地の党組織、国会・地



雑感

1月7日9時半より伊吹葉草の里文化センターで米原市消防出初式が行われました。日本共産党議員団も来賓として参加しました。今回は消防署員の多くが、能登半島地震の支援活動に参加していることから屋外での活動は中止となり、屋内式典のみとなりました。震災での犠牲者や亡くなった消防関係者を悼み黙とうが始まりました。また式辞の中で今回の能登半島での大災害を他人事ではなく地域防災の意味を再度確認する必要があることが強調されました。私たちも当然のこととして考えなければならぬと考えます。そのあと、午後0時30分(山東・伊吹地区)と午後3時(米原・近江地区)からルッチプラザで開かれた「米原市20歳の集い」の会場付近でお祝いの訴えを行いました。今年度、全国の20歳になられた方は110万人を越えていました。昨年生まれた方は70万人を越えた程度と推定されています。急激に日本の人口は減少していきます。このような中岸田自公政権は防衛費という軍事費を倍増しようとしています。そして国債といわれる借金が、若い世代にのしかかっています。今、少子化にしっかりと向き合う政権を作ることが今求められています。総選挙で日本共産党の勝利を。